

2019年6月3日

## エレクタ株式会社、Elekta Unity（エレクタ ユニティ）の製造販売承認を厚生労働省から取得

エレクタ株式会社は、1.5テスラMRIと7MVのリニアックを組み合わせるといふ、これまでにない構造の放射線治療システムであるElekta Unity MR リニアックシステム（以下、Elekta Unity）の製造販売承認を取得した。Elekta Unityによって、これまで以上に高精度で患者にやさしい放射線治療の可能性がひろがる。放射線治療は近年飛躍的に進化したが、さらなる進化のためには解決すべき課題が残っている。より高精度な治療を実現するために、腫瘍や周辺の重要臓器の位置・形状・動きをより正確に把握することや、治療ビームの照射中に患部の状況をリアルタイムに把握することが、治療システムに求められていた。画像診断や放射線治療計画に使われているMRI画像であれば、CT画像ではコントラストがつきにくい軟組織についても、正確な位置や形状の情報を得ることができる。さらに、毎回の治療直前および照射中の重要臓器の位置も把握して、それを避けながら腫瘍にのみ照射することができる。しかし、磁場を発生するMRIと放射線を照射するリニアックの一体化は、技術的に大変困難だった。エレクタはそのハードルを乗り越えるべく、オランダのユトレヒト大学医療センターの長年にわたる研究成果に基づき、MRIとリニアックが一体化された次世代の放射線治療ソリューションであるElekta Unityを開発した。現在、世界中の9つの医療施設で既に臨床に適用されている。

エレクタ株式会社の代表取締役であるチャールズ・シャーネン氏は、次のように述べている。

「Elekta Unityの導入により、日本の医療施設は先進の高精度放射線治療を提供できるようになります。何よりもまず、百万人を超える日本のがん患者に、この革新的な技術がより良い治療結果をもたらすことを期待しています。」

以上